CASBEE 大阪 みらい 建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル：CASBEE大阪みらい（新築）　▌使用評価ソフト：「CASBEE大阪みらい 新築」2024年版 (v.1.0.4)

1-1 建物概要

建物名称	(仮称)関西植木株式会社様マンション新築工事
建設地	西区千代崎2丁目
建物用途	共同住宅
建築主	
設計者	
竣工年	2028年2月　予定
構造/階数	RC造　/　地上10階
敷地面積	615.64 ㎡
建築面積	383.69 ㎡
延床面積	2600.91 ㎡

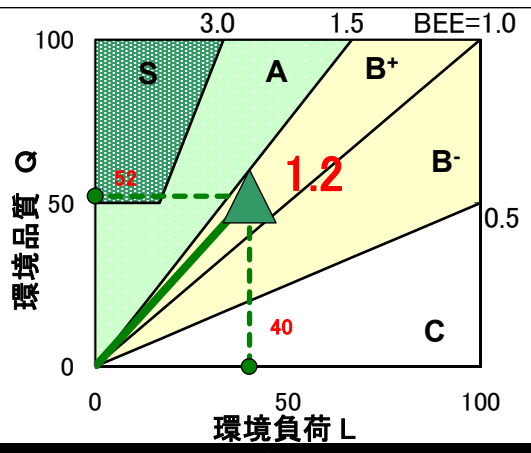
1-2 外観

2-1 建築物の環境効率(BEEﾗﾝｸ&ﾁｬｰﾄ)

B+

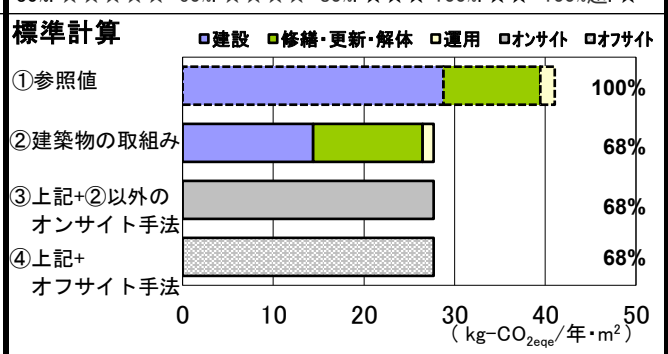
BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



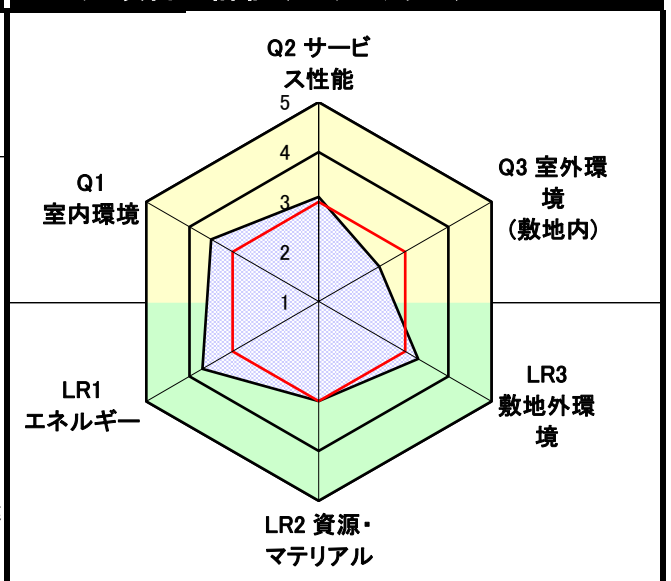
2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響ﾁｬｰﾄ)

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆



このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたWLC 排出量の目安で示したものです。④は参考として運用分をBEI＋で表示しています。

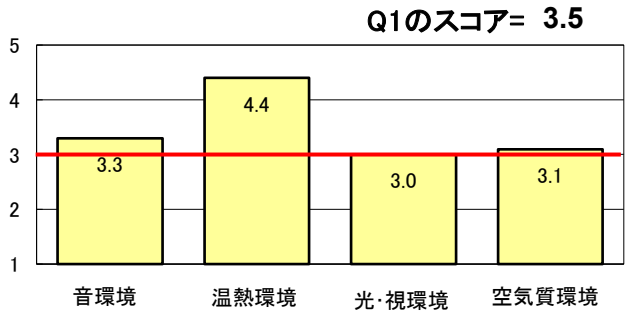
2-3 大項目の評価(ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ)



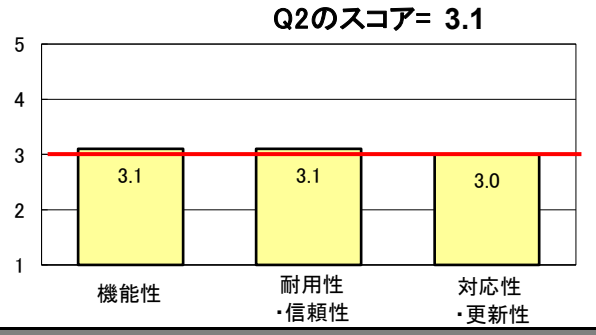
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.0

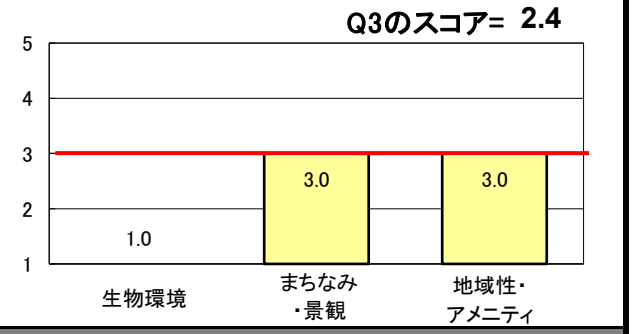
Q1 室内環境　Q1のスコア= 3.5



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 3.1

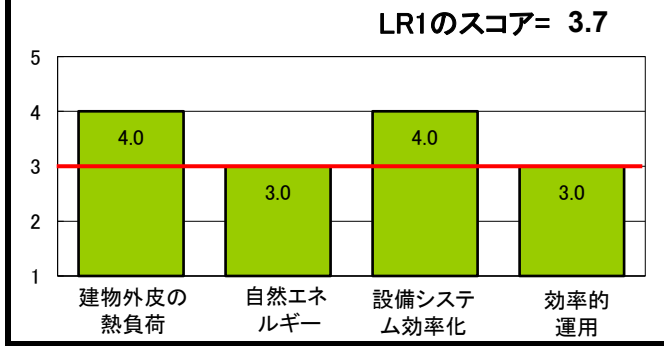


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 2.4

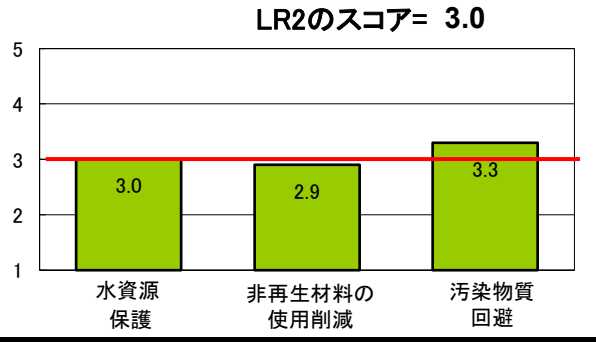


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.3

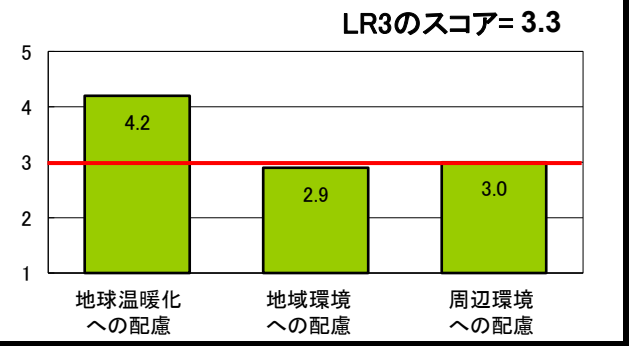
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 3.7



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 3.0



LR3 敷地外環境　LR3のスコア= 3.3



3 設計上の配慮事項

総合

本計画地は、関係法令を遵守した堅実な設計を基本としつつ、省エネルギー等級5による高い環境性能と、ゆとりある緑化計画による良好な室外環境を大きな特徴としている。基本性能の確かさと環境への配慮をバランスよく両立させ、長く快適に利用できる建築物を目指しました。

その他

とくになし

Q1 室内環境

建築基準法等の関係法令および省エネ基準等に適合した断熱材や換気設備を採用し、居住空間として標準的で快適な温熱環境および良好な空気質を確保しています。

Q2 サービス性能

一般的な用途・規模に適した、標準的かつ使い勝手の良い間取り・空間を確保しています。

Q3 室外環境（敷地内）

豊かな緑地を確保することで、生物多様性に配慮しつつ、周辺の景観向上空間の創出につなげています。

LR1 エネルギー

外皮の断熱性能および設備機器等において省エネルギー等級5の基準に適合した仕様を採用している。

LR2 資源・マテリアル

建築物として必要な構造耐力および耐久性を確保し、長寿命化に配慮した計画としている。また、内装や構造躯体においてリサイクル可能な材料や環境負荷の少ない建材の採用、将来のメンテナンスや解体時の分別廃棄が容易な構造・工法に努めます。

LR3 敷地外環境

省エネ性能の確保や適切な設備選定により、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出抑制に努める。また、敷地外への影響についても、関係法令を遵守し、周辺の温熱環境や日照・光害、騒音・排水等に配慮した標準的かつ健全な計画としているます。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

建築物環境性能表示　結果〔重点評価〕

総合評価BEE　=　1.2

ラベル表示



環境性能		評価点	
(1)CO2削減		4.0	
CO2削減に配慮した環境性能			概要記入欄
LR3/ 1 /　/	地球温暖化への配慮	4.2	
配慮事項			

環境性能		評価点	
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0	
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能			概要記入欄
Q3 / 1 /　/	生物環境の保全と創出	1.0	
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	3.0	
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	3.0	
配慮事項			

環境性能		評価点	
(3)建物の断熱性		4.0	
CO2削減に配慮した環境性能			概要記入欄
LR1/ 1 /　/	建物の熱負荷抑制	4.0	
配慮事項			

環境性能		評価点	
(4)エネルギー削減		4.0	
CO2削減に配慮した環境性能			概要記入欄
LR1/ 3 /　/	設備システムの高効率化	4.0	
配慮事項			

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 住宅部分の一次エネルギー消費量については、BEIが1.0以下であること
※ 非住宅部分の一次エネルギー消費量については、「建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令（以下、「省令」という）」第1条第1項第1号もしくは、省令第1条第1項第3号に掲げる基準以下であること。

	住宅部分（品確法等級）		非住宅部分[BPI][BPIm]
外皮性能	等級5	（相当）	-

	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEIm]
一次エネルギー消費量	0.79	-